

2009年度決算概況と 今後の事業展開について

Speciality Chemical Partner



荒川化学工業株式会社

目 次

1. 2009年度決算概況と今期の予想
2. セグメント別情報
3. 設備投資 等
4. 株主還元策
5. 基盤事業と伸長事業について
6. 国際展開
7. 第2次中期5カ年経営計画

参考資料. 会社・事業概要、売上原価率・販管費率
キャッシュフロー、第2次中期5カ年経営計画 等

1. 2009年度決算概況と今期の予想

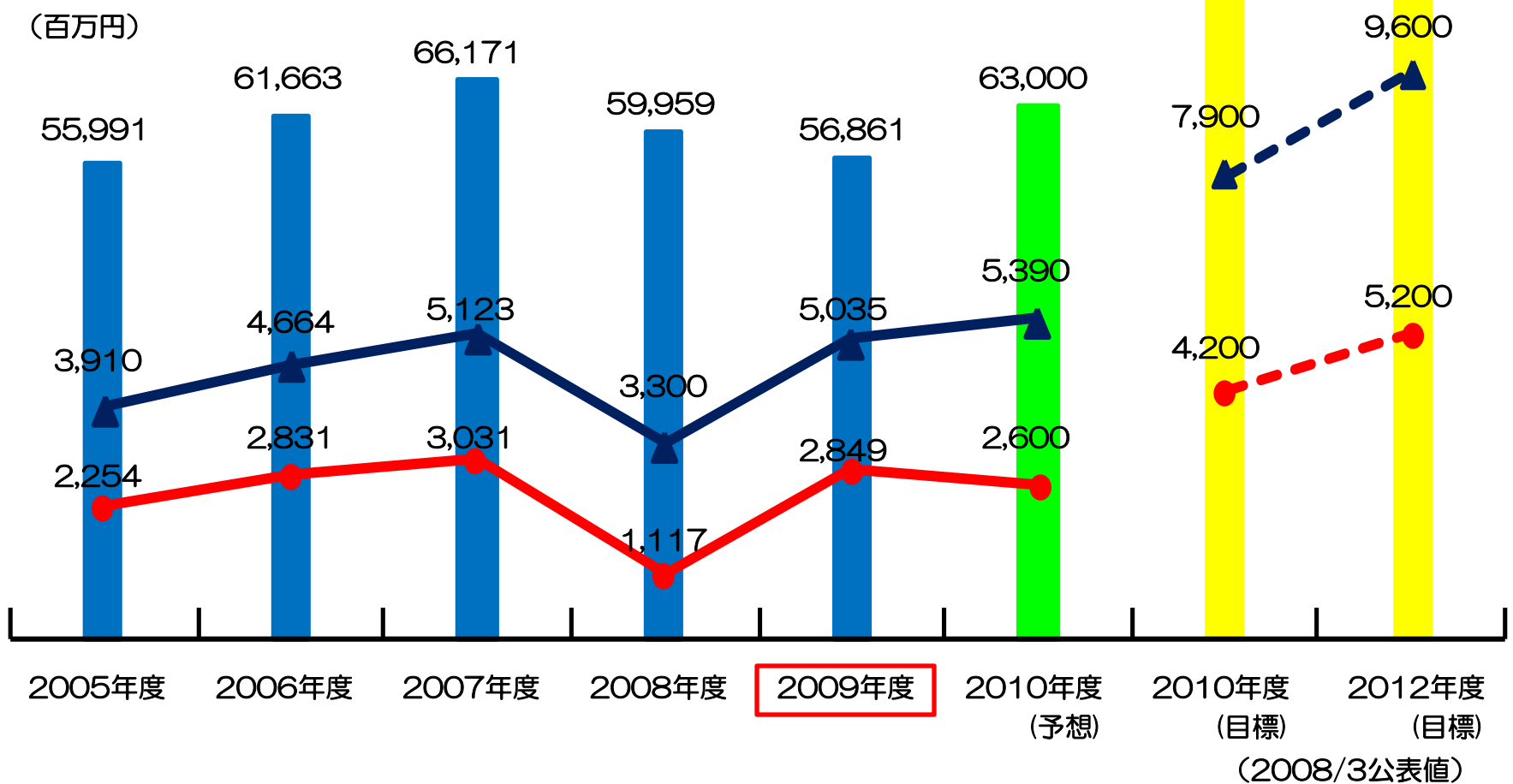
1-1. 決算概要（連結）

(単位：百万円) (下段：増減%)					中期5カ年経営計画	
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 (予想)	3年目 2010年度 (目標)	5年目 2012年度 (目標)
売上高	66,171 7.3%	59,959 △9.4%	56,861 △5.2%	63,000 10.8%	76,000	85,000
営業利益	3,031 7.1%	1,117 △63.1%	2,849 155.1%	2,600 △8.8%	4,200	5,200
経常利益	3,222 10.8%	1,291 △59.9%	3,224 149.6%	2,900 △10.1%	4,300	5,500
当期純利益	1,775 8.4%	657 △63.0%	1,395 112.3%	1,550 11.1%	2,550	3,300
R O E	5.0%	1.9%	4.0%	4.4%	—	≥7%
E B I T D A	5,123 9.8%	3,300 △35.6%	5,035 52.6%	5,390 7.1%	7,900	9,600

(2008/3公表値)

1-2. 業績推移 (連結)

中期5ヵ年経営計画
3年目 5年目



1-3. 経営指標等（連結）

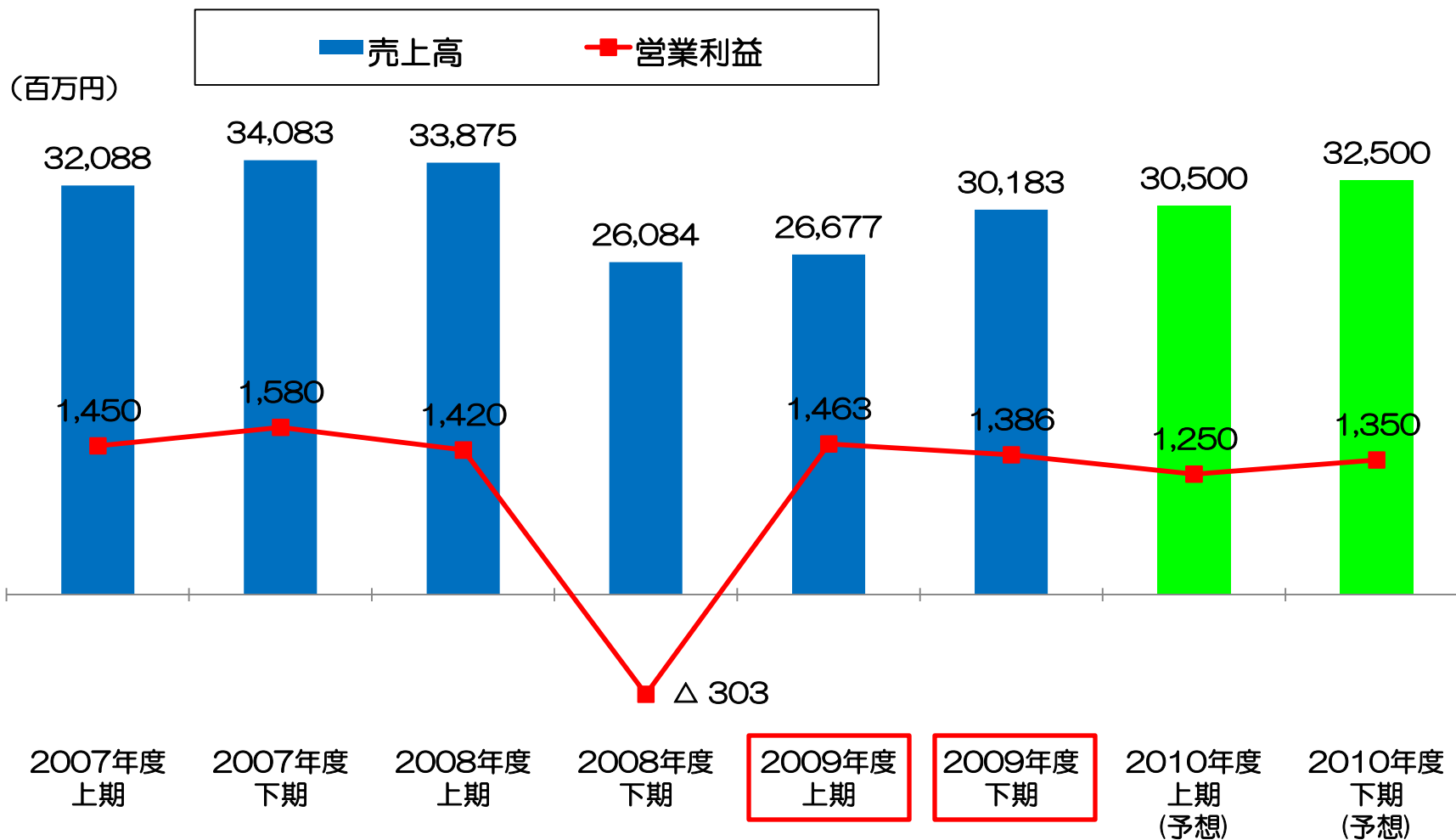
					中期5カ年経営計画	
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 (予想)	3年目 2010年度 (目標)	5年目 2012年度 (目標)
自己資本比率 (%)	55.0	58.3	55.8	52.7	—	—
売上高営業利益率 (%)	4.6	1.9	5.0	4.1	5.5	6.1
売上高経常利益率 (%)	4.9	2.2	5.7	4.6	5.7	6.5
一株当たり 当期純利益 (EPS) (円)	88.18	32.64	69.28	76.96	126.62	163.86
一株当たり 純資産 (BPS) (円)	1,769.62	1,695.62	1,775.81	1,830.00	—	—

(2008/3公表値)

1-4. 業績推移（連結） 半期毎

(単位：百万円)	2007年度		2008年度		2009年度		2010年度(予想)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	32,088	34,083	33,875	26,084	26,677	30,183	30,500	32,500
営業利益	1,450	1,580	1,420	△303	1,463	1,386	1,250	1,350
経常利益	1,653	1,568	1,555	△263	1,656	1,568	1,400	1,500
当期純利益	946	829	1,103	△446	671	724	750	800

1-4. 業績推移（連結） 半期毎

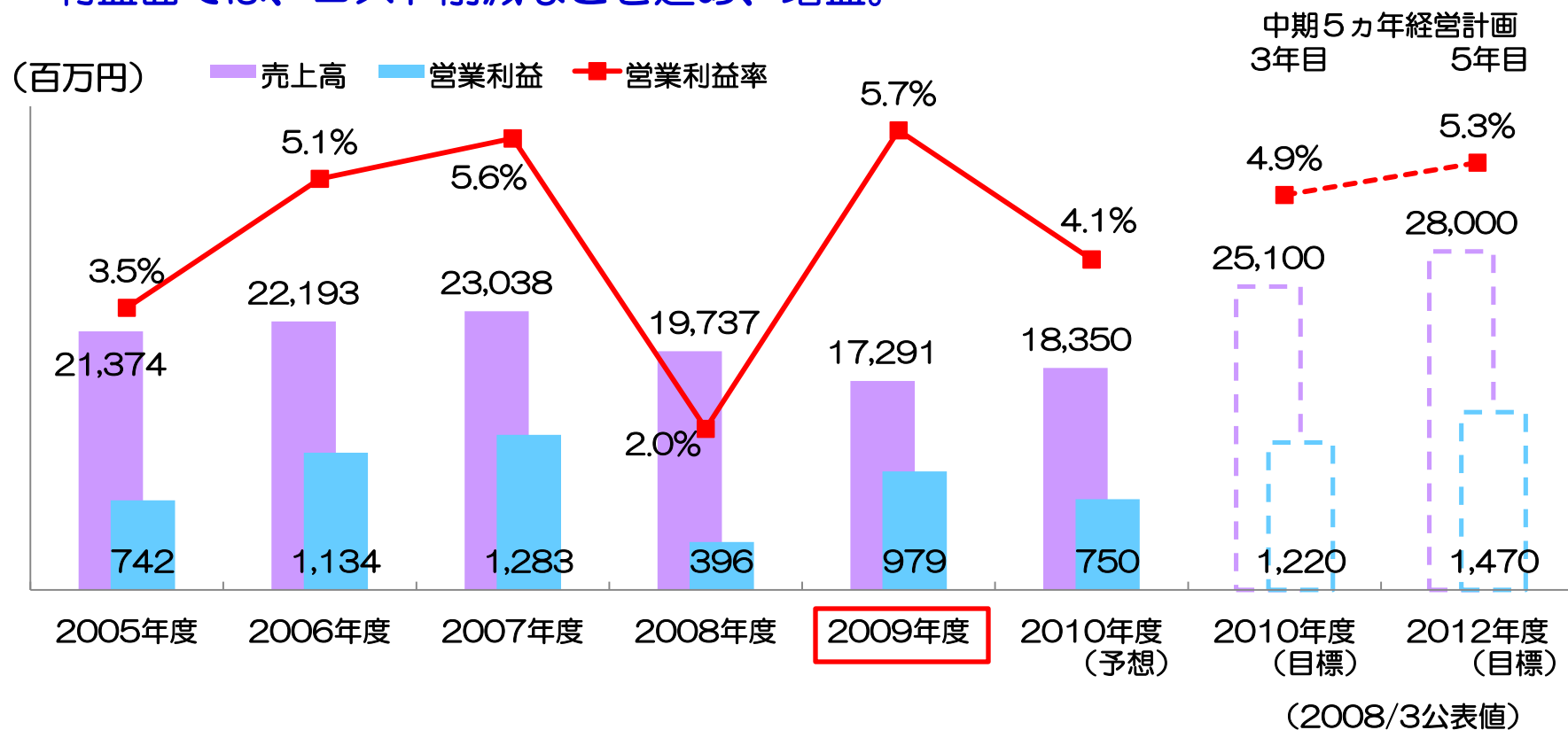


2. セグメント別情報

2-1. 連結セグメント別概況（1）製紙用薬品事業

製紙用薬品事業（2009年度）

国内では、製紙会社での大規模な生産調整が続き、大幅な減収。
 海外でも、中国、台湾での需要減少により大幅な減収。
 利益面では、コスト削減などを進め、増益。



2-2. 連結セグメント別概況（2）工業用樹脂事業

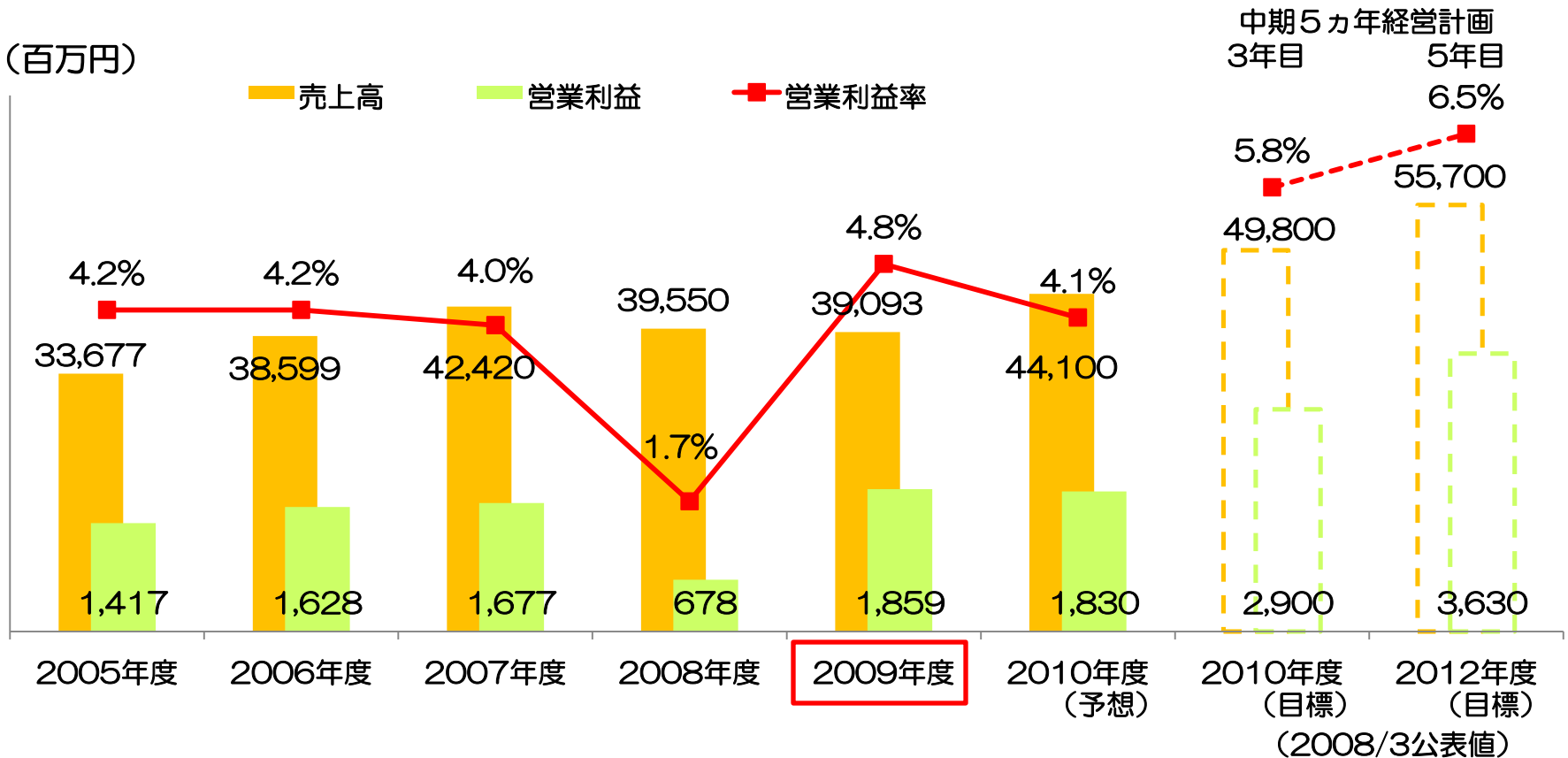
工業用樹脂事業（2009年度）

基盤分野では、印刷インキ・塗料用樹脂の売上が大幅に減少。

伸長分野では、光硬化型樹脂等の売上が、用途の拡大や電子工業業界での需要回復により増加。セグメント全体では、僅かに減収。

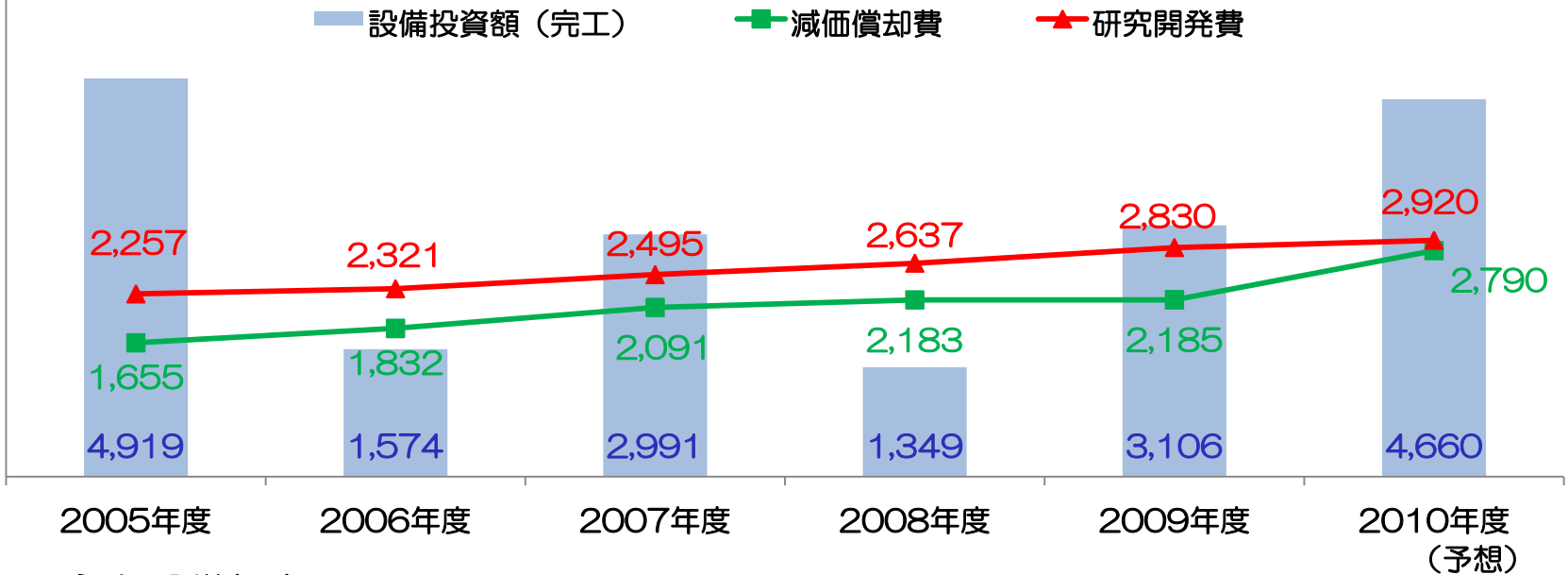
利益面では、コスト削減や高付加価値製品の拡販などを進め、増益。

(百万円)



3. 設備投資等（連結）

(百万円)



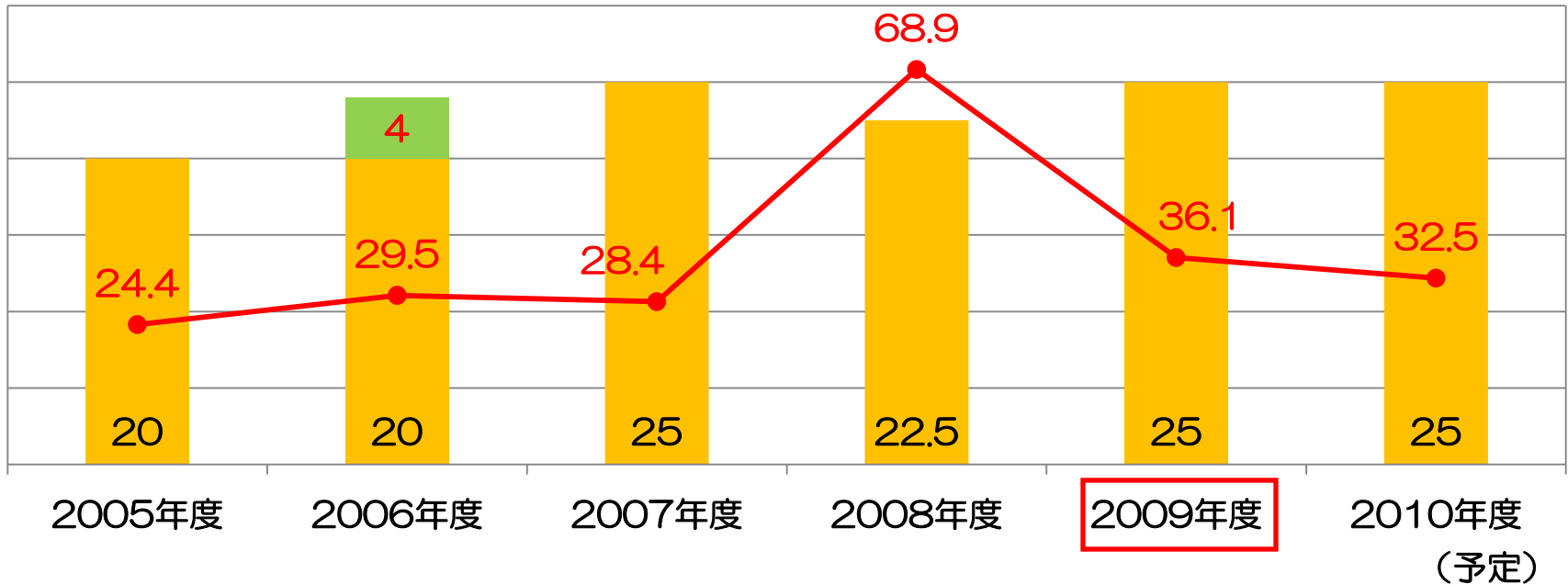
主な設備投資

- | | | |
|------------|----------------|--------|
| 2009年度（実績） | ・ 高圧化学工業ファイン設備 | 784百万円 |
| | ・ 大阪工場立体自動倉庫 | 320百万円 |
| 2010年度（計画） | ・ 光硬化型樹脂等生産設備 | 約25億円 |
| | ・ 広西梧州荒川化学新工場 | 約7億円 |
| 2011年度（計画） | ・ 超淡色ロジン生産設備 | 約30億円 |

2008～2012年度	第2次中計期間での投資額合計	(3年間累計額)
・ 投資金額	約250億円	約91億円
・ 減価償却費	約180億円	約72億円
・ 研究開発費	約150億円	約84億円

4. 株主還元策

■ 1株当たり配当金
 ■ 記念配当
 ● 配当性向
 配当金（円）、配当性向（％）



2008年度配当	中間配当	12.5円	+	期末配当	10.0円	計 22.5円
2009年度配当	中間配当	12.0円	+	期末配当	13.0円	計 25.0円
2010年度配当予定	中間配当	12.5円	+	期末配当	12.5円	計 25.0円

5. 基盤事業と伸長事業について

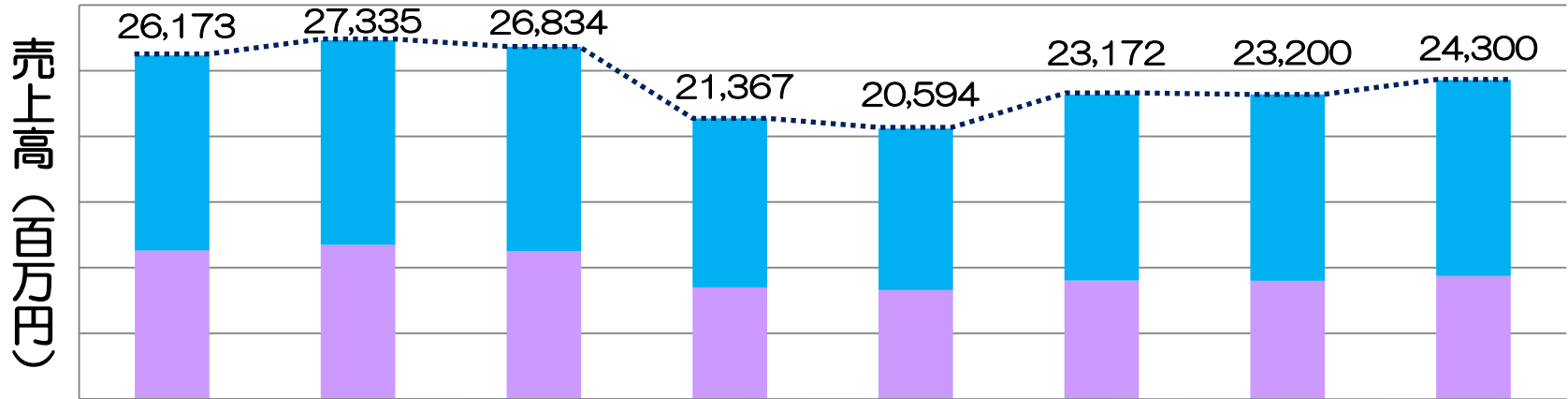
セグメント別	製紙用薬品事業	工業用樹脂事業			その他事業	
商品分類別	サイズ剤 紙力増強剤 塗工用薬品 その他	印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤 超淡色ロジン その他	電子材料用配合製品 光硬化型樹脂 有機・無機ハイブリッド樹脂	機能性フラインケミカル製品 クリームはんだ関連製品 精密部品洗浄剤	精密部品洗浄機 不動産仲介等	
事業別	製紙用薬品事業	化成品事業		光電子材料事業	機能材料事業	その他事業
基盤・伸長別	基盤事業		伸長事業			

5-1. 事業別実績推移（連結）半期毎

基盤事業

製紙用薬品事業

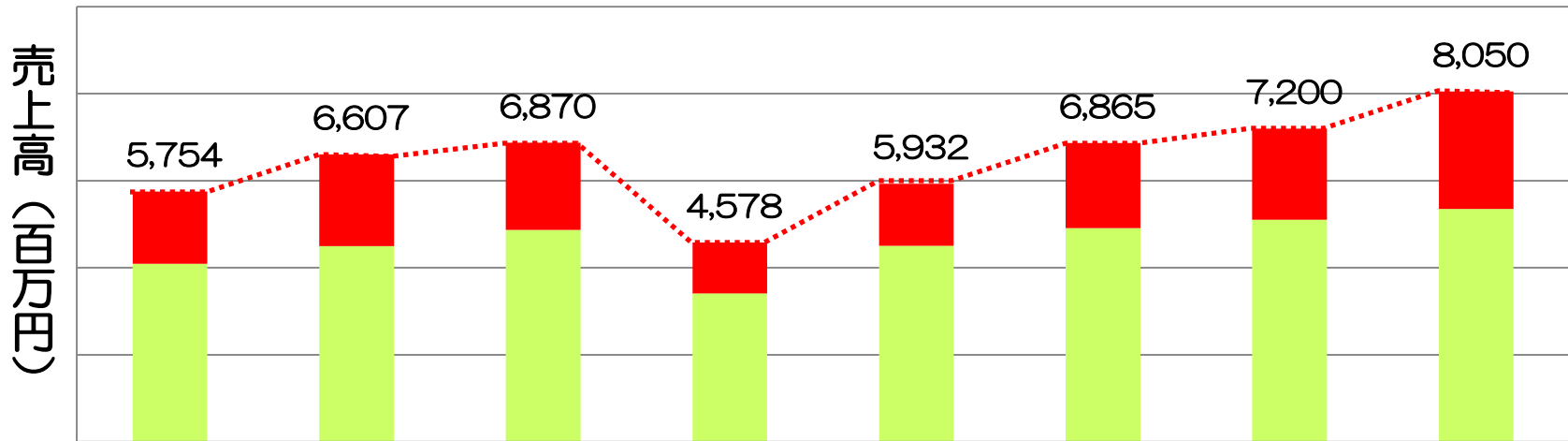
化成品事業



伸長事業

光電子材料事業

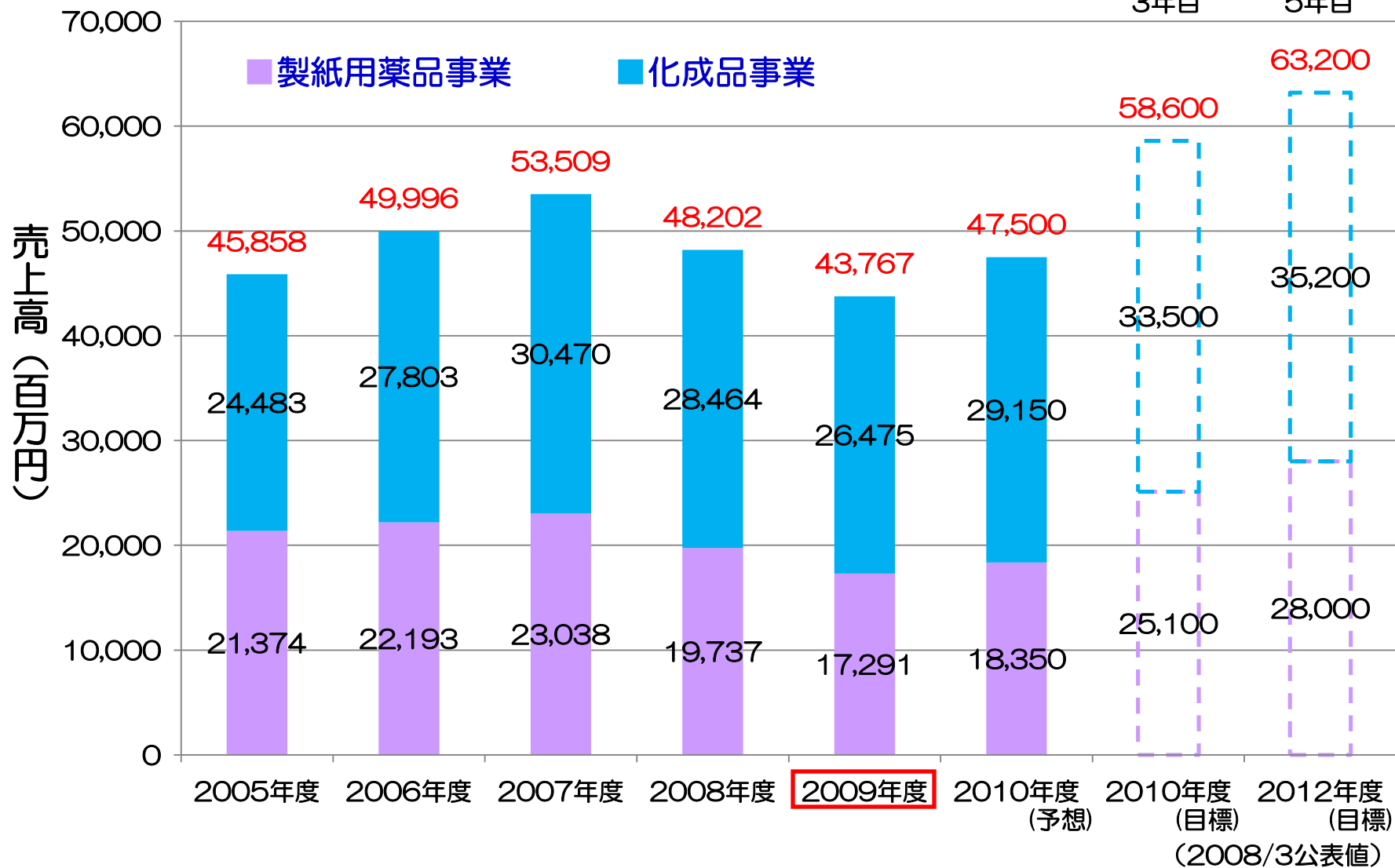
機能材料事業



2007年度 上期 2007年度 下期 2008年度 上期 2008年度 下期 **2009年度 上期** **2009年度 下期** 2010年度 上期(予想) 2010年度 下期(予想)

5-2. 基盤事業（製紙用薬品事業+化成品事業）

中期5カ年経営計画
3年目 5年目



5-3. 超淡色ロジン (パインクリスタル)

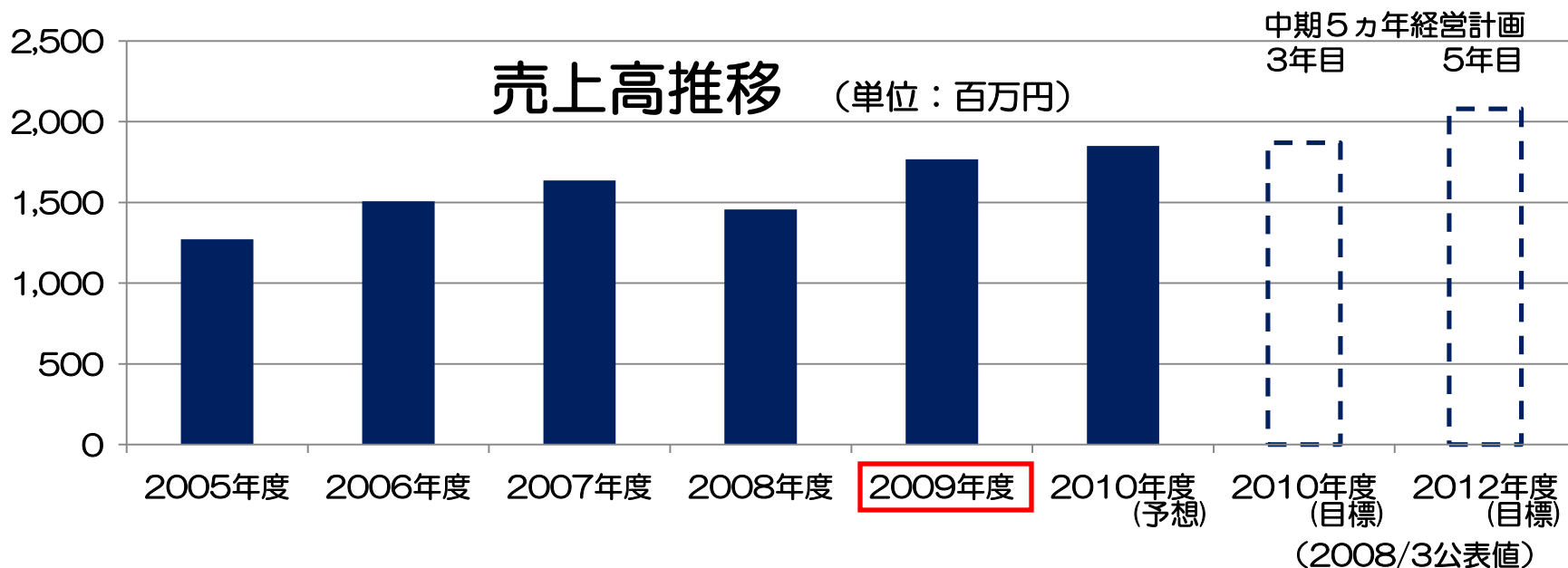


〔用途〕 鉛フリーはんだ用フラックス
 医療用ハップ剤
 プラスチック用結晶核剤

〔特長〕 不純物が少ない、熱に対して安定

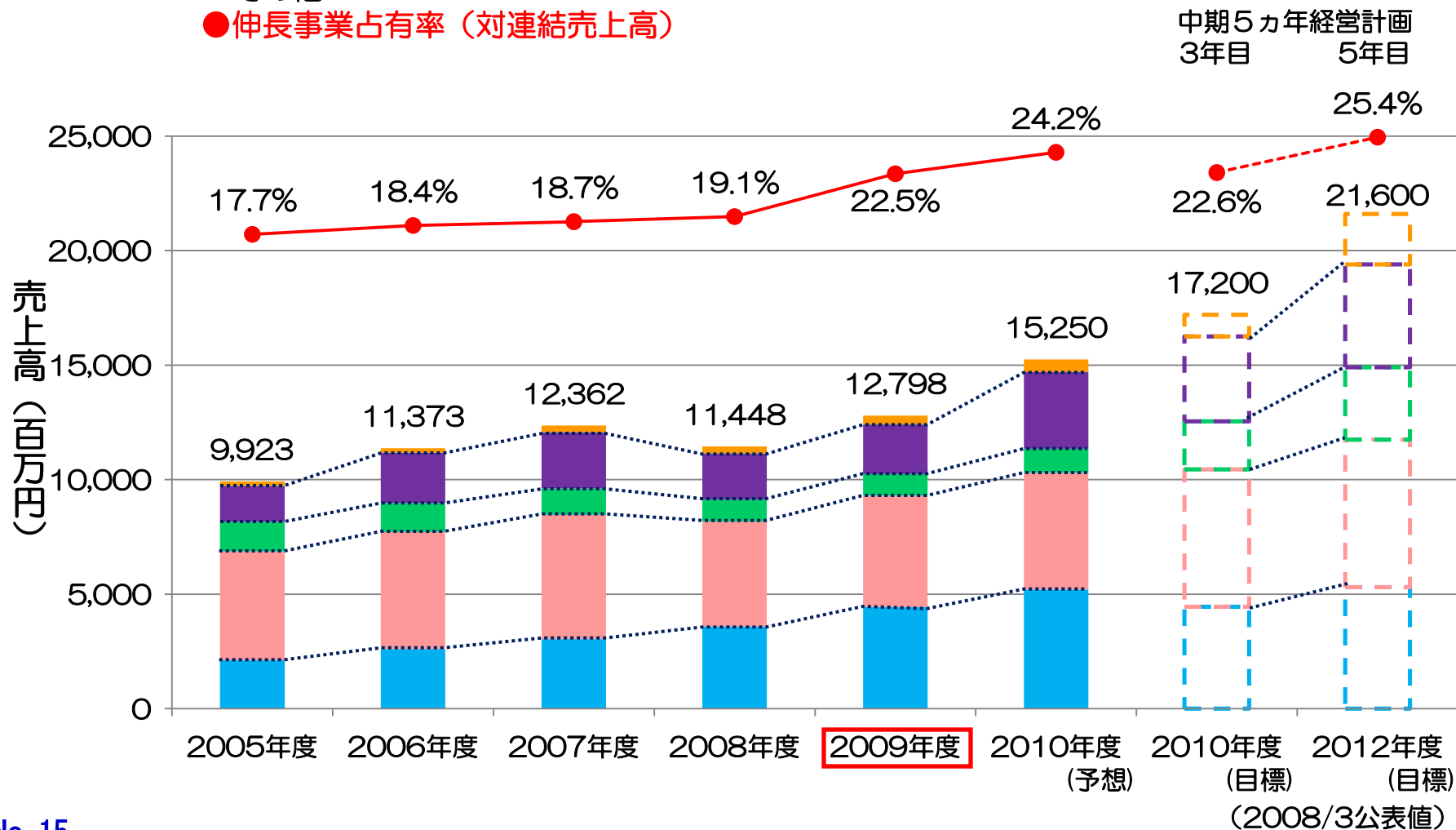
新グレード開発で用途を拡大 (参照: No.41)

小名浜工場に生産設備新設、2011年6月完工予定
 投資金額:約30億円 生産能力:約2,500トン/年



5-4. 伸長事業(光電子材料事業+機能材料事業)

- 光硬化型樹脂
- 電子材料用配合製品(ペルノックス)
- 精密部品洗浄剤・洗浄機械
- 機能性ファインケミカル製品(高圧化学)
- その他
- 伸長事業占有率(対連結売上高)



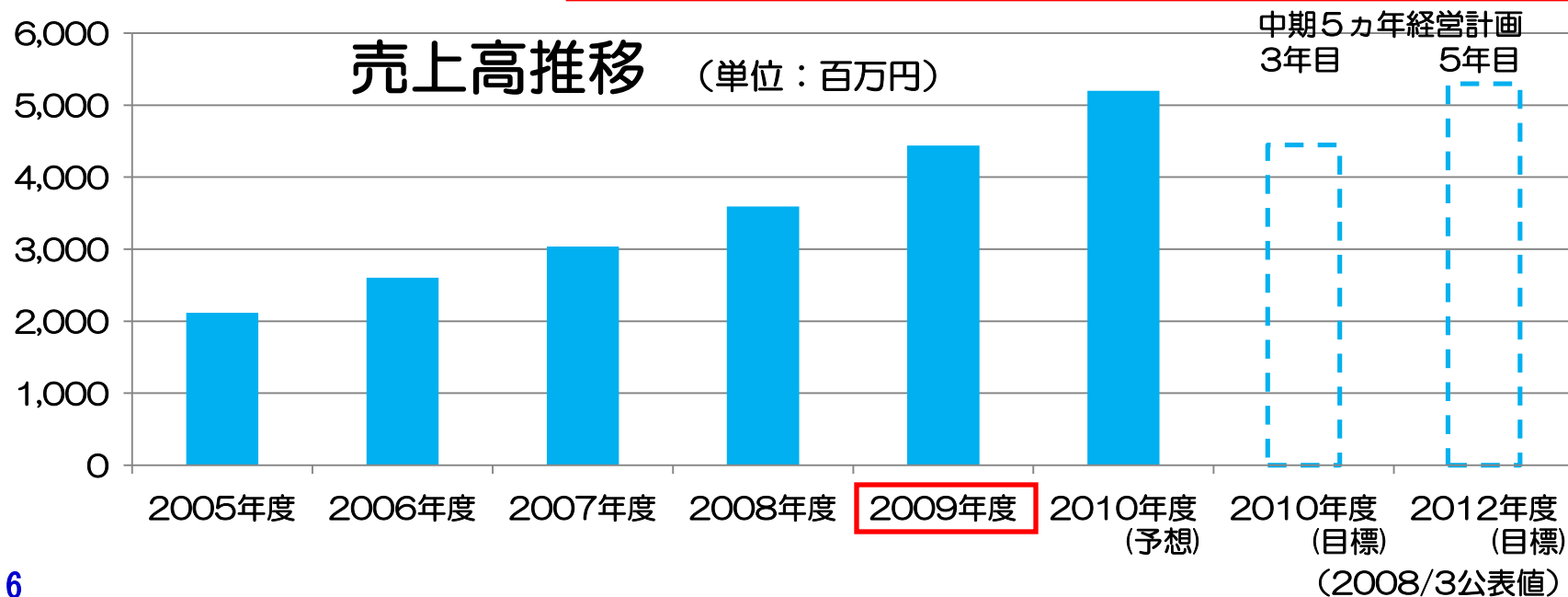
5-5. 光硬化型樹脂 (ビームセット)



[用途]	機能的コーティング	環境・省エネ対応
	携帯電話	印刷インキ・塗料
	ディスプレイ	クイヤワニス
	IC生産工程用	水系化

[特長] 紫外線、電子線で硬化 高機能性
速硬化性=高生産性=省エネ

大阪工場に生産設備新設、2011年2月完工予定
投資金額:約25億円 生産能力:約4,000トン/年

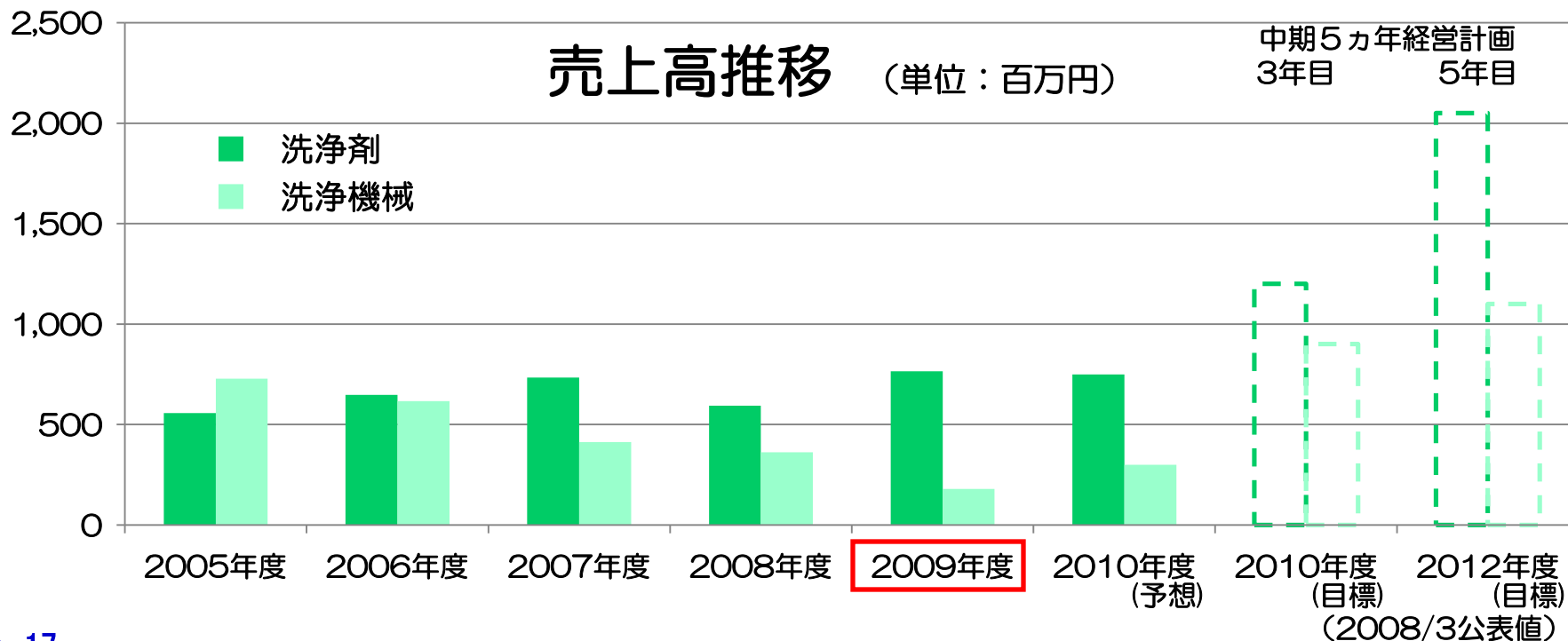


5-6. 精密部品洗浄システム（パインアルファ、洗浄機械）



[洗浄対象] 実装基板 BGA
 ハイブリッドIC
 HDDケース
 WL-CSP
 通信機器部品
 シリコンウェハ 等

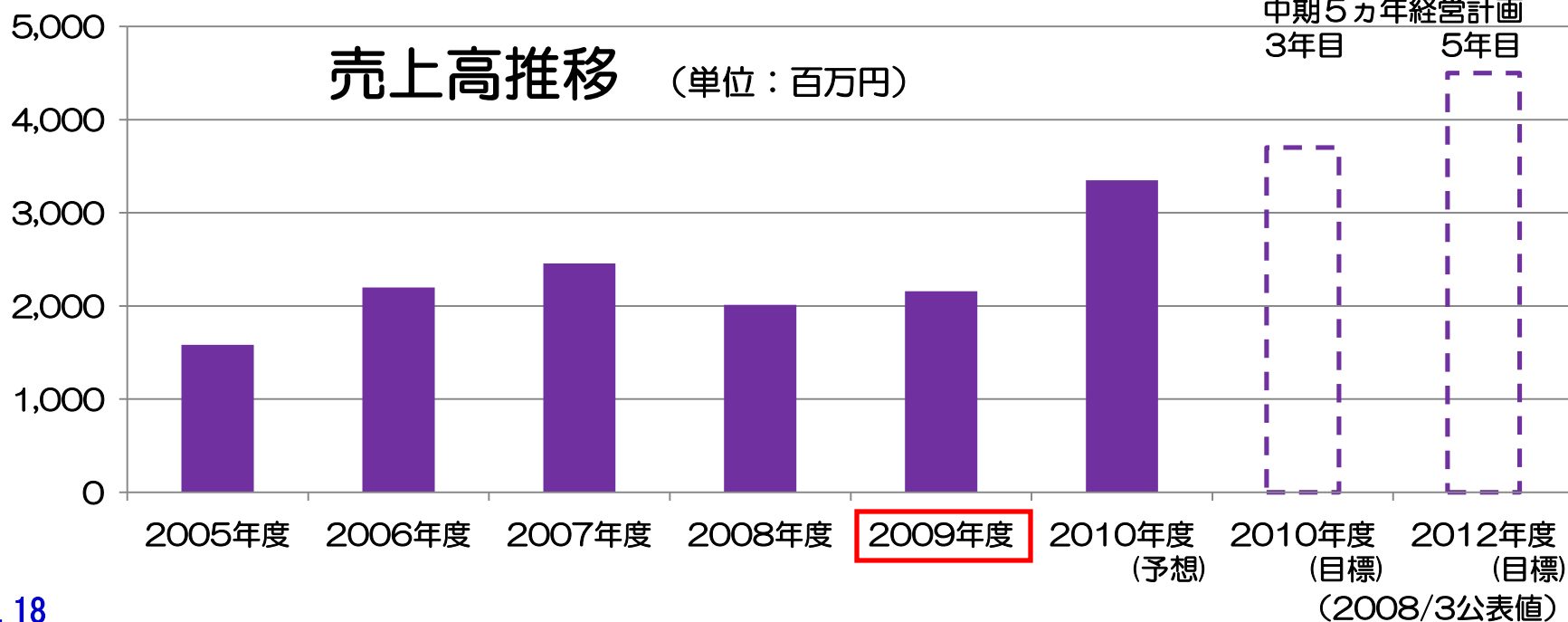
新洗浄技術を開発（参照：No.44）



5-7. 機能性ファインケミカル製品

- ・ 高圧化学工業のクリーン環境対応設備にて機能性ファインケミカル製品を製造
- ・ 高度な品質管理体制を強みに売上が伸長

ファイン設備が2009年12月完工
投資金額:784百万円
生産能力:180トン/年 (約3割増)



5-8. 電子材料用配合製品（ペルノックス）

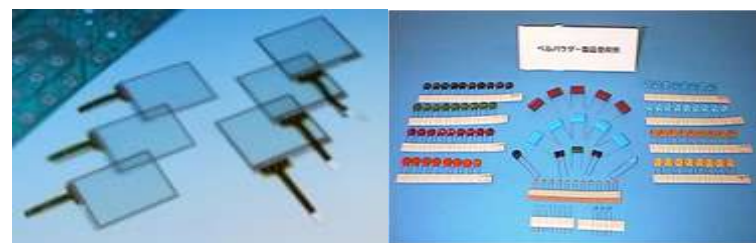
- ・2003年10月にグループ化
- ・エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの樹脂とフィラーの配合・分散技術に強みを持つ
- ・ディスプレイ関連の導電性材料が伸長

導電性材料

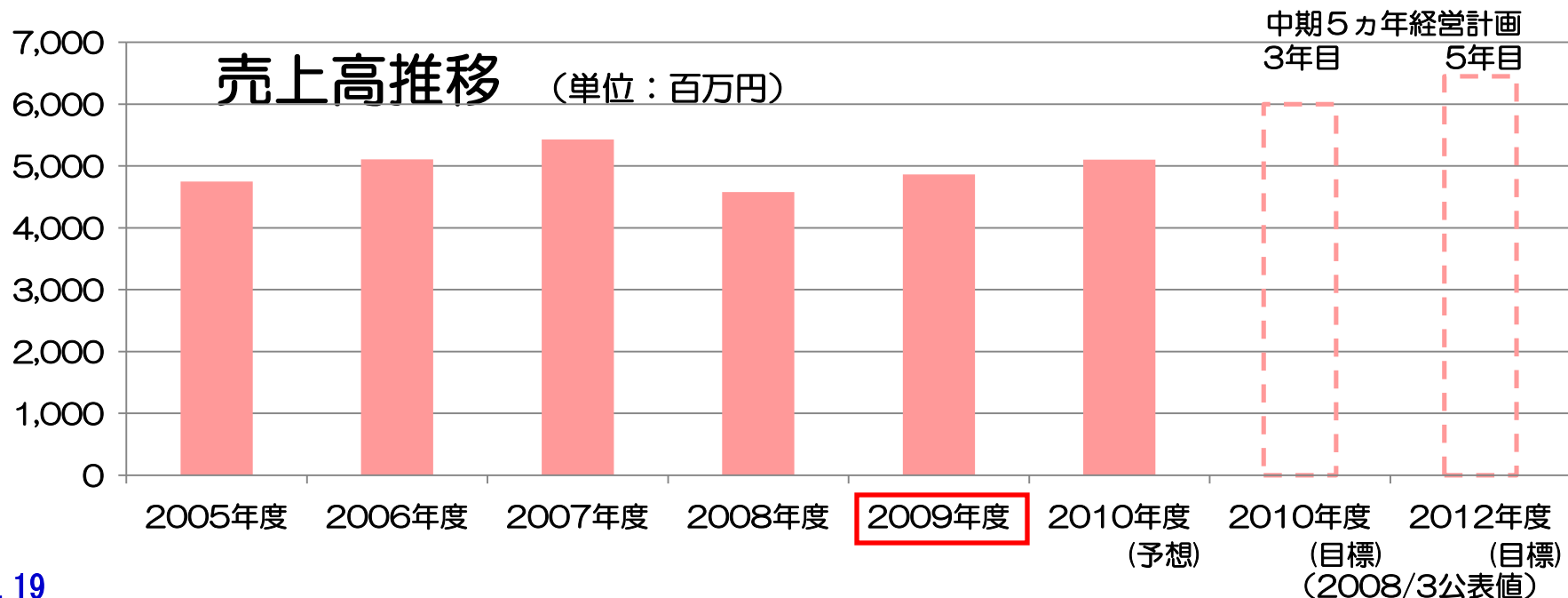
（タッチパネル電極用導電性ペースト、ディスプレイの帯電防止コーティング剤等）

粉体エポキシ樹脂製品

（コンデンサーコーティング用樹脂等）



新製品（放熱塗料）を開発（参照：No.43）



6. 国際展開

6-1. 荒川化学グループの国際展開

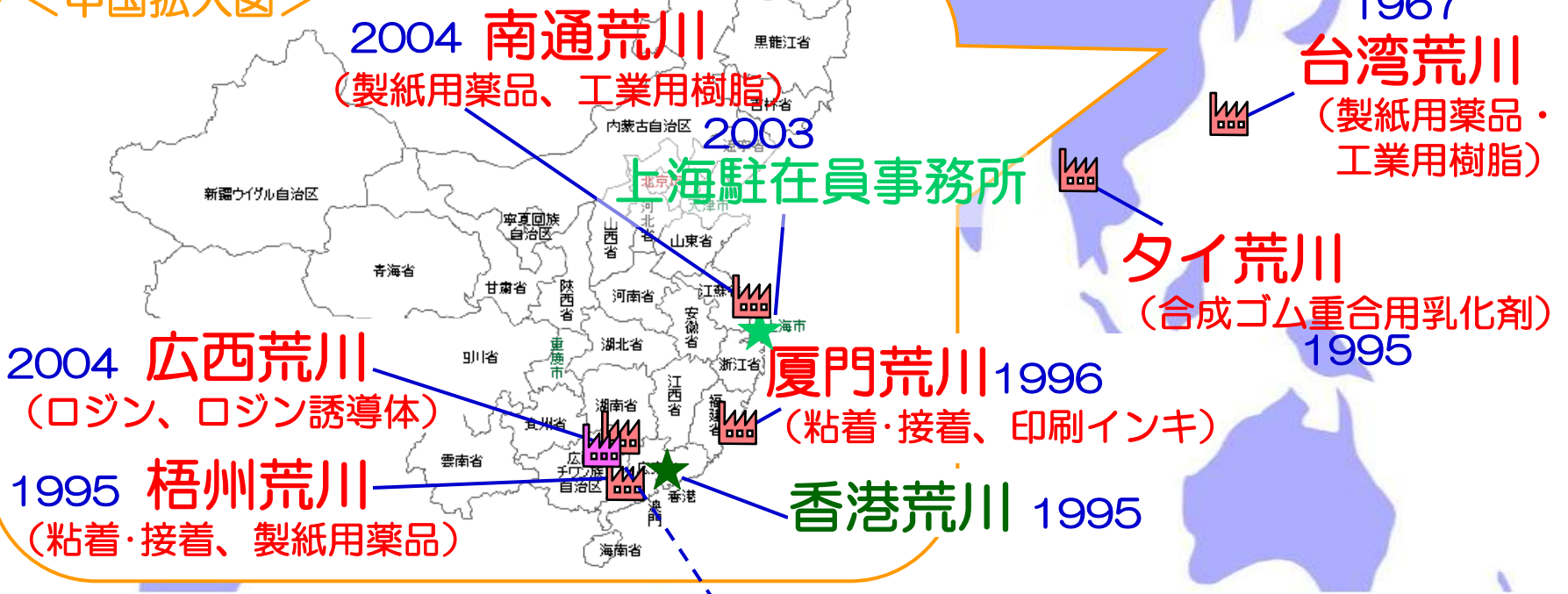
※ マークは製造拠点

※ 図中の数字は設立年

1982
★ 米国荒川 ★

1998
★ 欧州荒川 ★
(譲り受け交渉中)

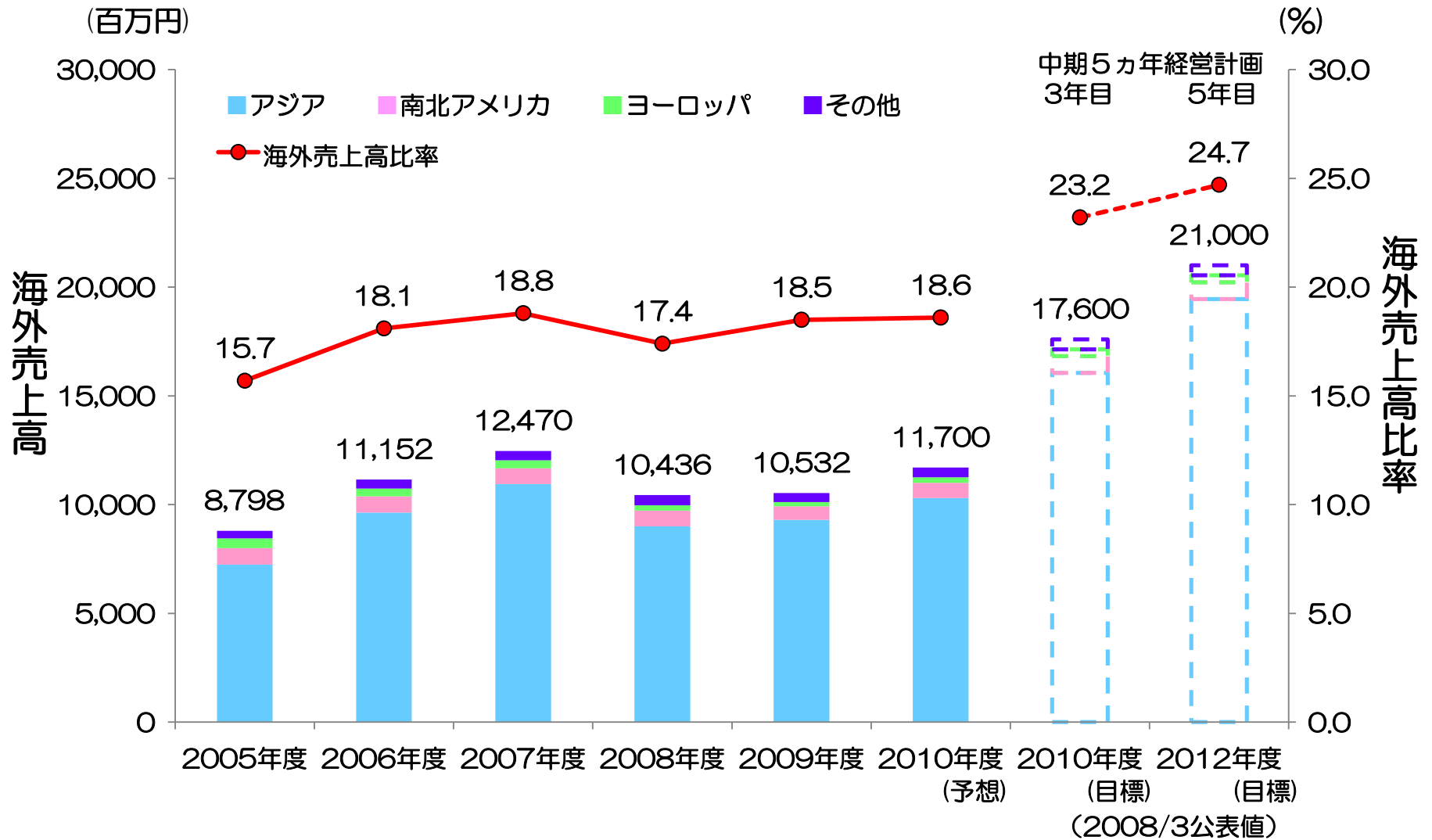
<中国拡大図>



* 2010秋頃稼働予定 広西梧州荒川 (粘着・接着)

6-2. 海外売上高

海外売上高・比率推移



PINE DASH 1000

基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

1) 基盤事業のさらなる拡大

2) 伸長事業の拡大

3) 新規事業・新技術の創生

4) 経営・事業基盤の整備と強化

7. 第2次中期5ヵ年経営計画 (2008~2012年度)

～ これまでの取り組み ～

1) 基盤事業のさらなる拡大

- * 高付加価値製品の開発、拡販 (参照: No.40、41)
- * 超淡色ロジン生産設備の新設 (2011年6月完工予定)
- * 広西梧州荒川化学の設立 (2010年秋頃稼働予定)
- * 荒川ケミカル (タイランド) 社の連結子会社化 (2009年8月)
広西荒川化学の完全子会社化 (2009年8月)
- * ダウ・ケミカル社のドイツの水素化石油樹脂事業を譲り受け (現在交渉中)

2) 伸長事業の拡大

- * シリカハイブリッドポリイミドフィルム「ポミラン」
の工業化技術確立 (2009年5月) (参照: No.42)
- * 高圧化学工業にファイン設備を増設 (2009年12月完工)
- * 光硬化型樹脂、有機・無機ハイブリッド樹脂生産設備の新設
(2011年2月完工予定)

7. 第2次中期5ヵ年経営計画 (2008~2012年度)

～ これまでの取り組み ～

3) 新規事業・新技術の創生

- * 開発マネジメントシステムの構築 (2009年4月運用開始)

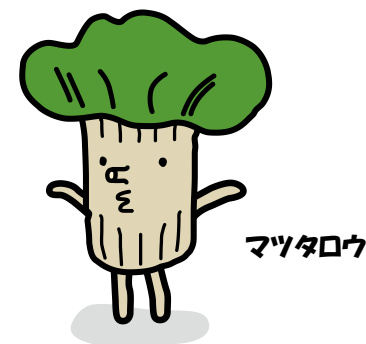
4) 経営・事業基盤の整備と強化

- * 統合生産計画、生産管理システムの構築 (2008年5月運用開始)
- * 製紙薬品事業部と化成品事業部に国際部を新設
海外関係会社を統轄する国際統轄部を新設 (2009年4月)
- * 立体自動倉庫の新設による物流合理化と環境負荷低減 (2010年1月)
- * 「グリーン規定」の制定 (2010年4月)
環境負荷低減に対する取り組みを推進

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



以下、参考資料

目次

- 1 . 会社概要
- 2 . 経営方針
- 3 . 事業の概要
- 4 . 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ
- 5 . 事業セグメントとグループ体制
- 6 . 個別業績推移
- 7 . 売上原価、販管費の推移（連結）
- 8 . キャッシュフロー推移（連結）
- 9 . 第2次中期5カ年経営計画の概要（基本方針、連結業績目標、キャッチフレーズ）
- 10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略（セグメント別業績目標、基盤・伸長事業、海外展開等）
- 11. 新製品紹介

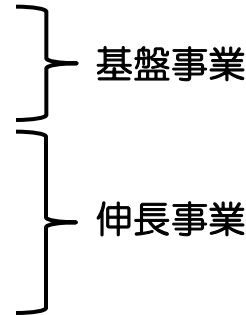
ポリテンション／製紙薬品事業

アラコート、パインクリスタル／化成品事業

ポミラン／光電子材料事業

ペルクール／光電子材料事業（ペルノックス）

ダイレクトフォールズ／機能材料事業



- 12. 環境配慮型製品の売上高推移

1. 会社概要

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 末村 長弘
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
証券コード	4968

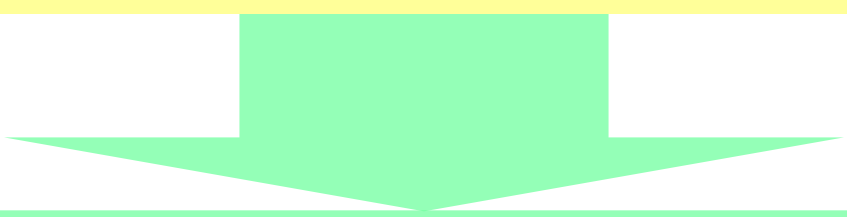
2. 経営方針

経営理念

個性を伸ばし技術とサービスでみんなの夢を実現する

ビジョン

ロジックに代表される地球に優しい素材を通して
社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー



株主、取引先、社員および社会に貢献して
企業価値を高めていく

3. 事業の概要



天産原料
ロジン (松脂)

石油化学原料

・ 製紙用薬品
(サイズ剤、紙力増強剤)

印刷用紙

新聞紙

・ 印刷インキ・塗料用樹脂

印刷用インキ

塗料

・ 粘着・接着剤用樹脂

粘着剤

接着剤

・ 合成ゴム重合用乳化剤

チューインガム

タイヤ

・ 電子材料他

ディスプレイ
コーティング

回路基板

荒川化学の事業領域

4. 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

①生松脂採取



生松脂採取

* 松の木に溝をつけ、滲み出してきた松脂を収集する

②生松脂の受入～ロジンの精製 (広西荒川化学工業有限公司)



生松脂入荷

精製



ロジン取出し



ロジン



事務棟外観



ロジン精製プラント外観

③荒川化学グループへ出荷

- ・ 製紙用薬品
- ・ 印刷インキ、塗料用樹脂
- ・ 合成ゴム重合用乳化剤
- ・ その他
(ガムベース、電子材料関連分野用の樹脂など)

* ロジンは、様々な用途の製品の製造にかかせない材料

5. 事業セグメントとグループ体制

工業用樹脂事業

印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂
 合成ゴム重合用乳化剤 電子材料用配合製品
 光硬化型樹脂 有機・無機ハイブリッド樹脂
 機能性ファインケミカル製品 精密部品洗浄剤
 クリームはんだ関連製品 等

○連結子会社

- [日本] 高压化学工業
 ペルノックス
- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 南通荒川化学
 梧州荒川化学
 広西荒川化学
 厦門荒川化学
 広西梧州荒川化学
- [米国] 米国荒川化学
- [タイ] タイ荒川化学

○持分法適用関係会社

- [欧州] 欧州荒川

製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 等

○連結子会社

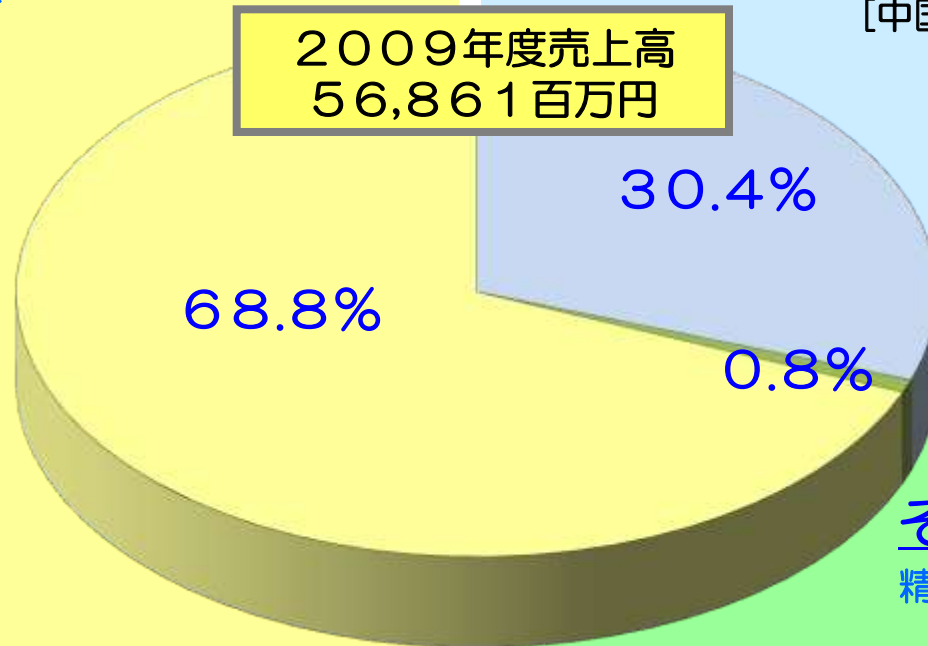
- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 南通荒川化学
 梧州荒川化学

その他事業

精密部品洗浄機械 等

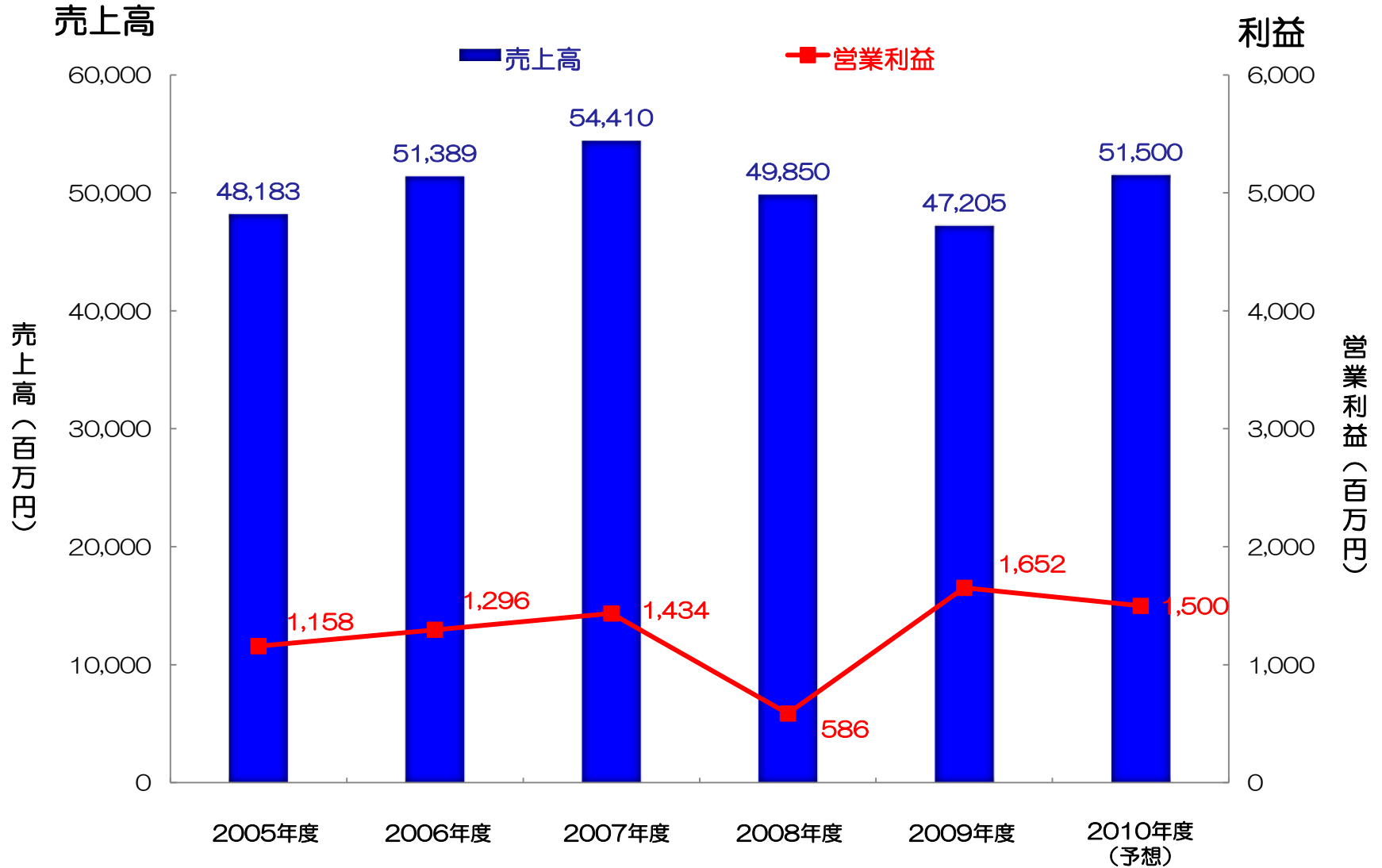
○連結子会社

- [日本] カクタマサービス



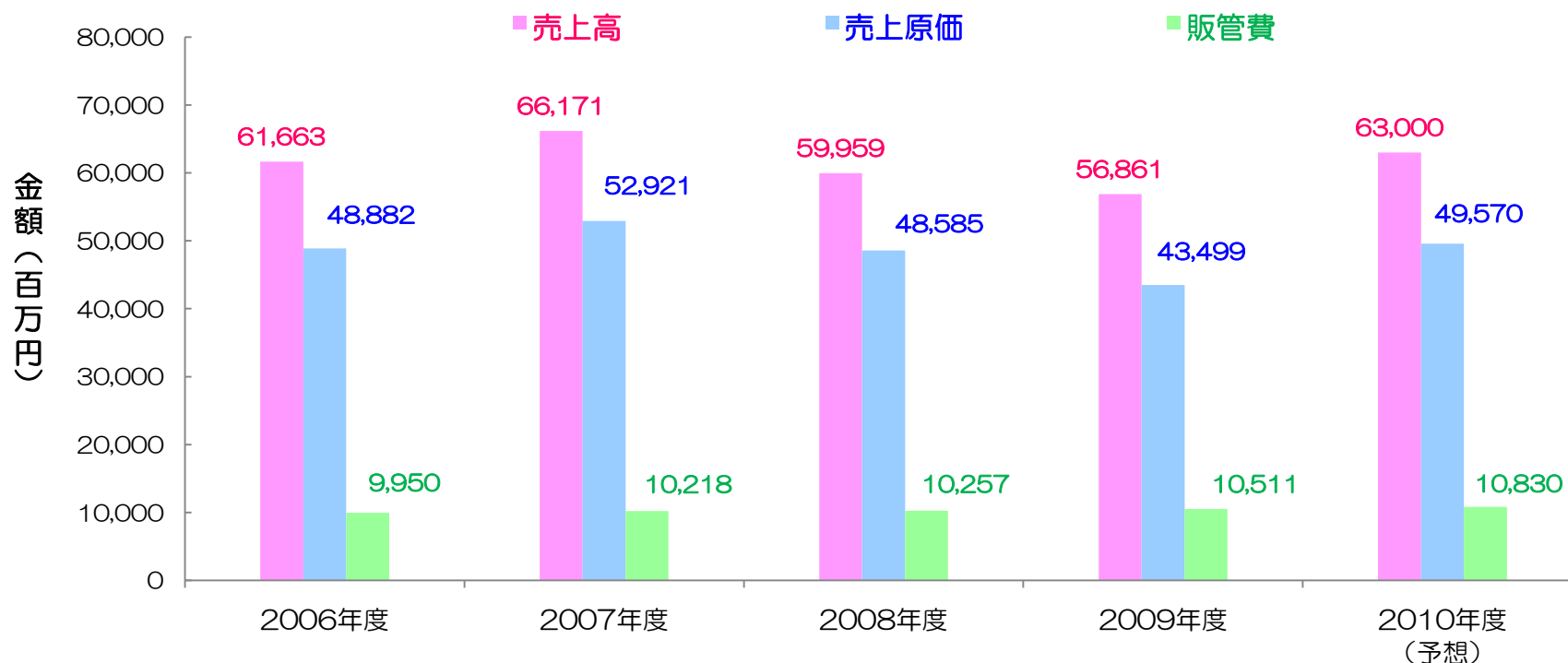
6. 個別業績推移

【個別】



7. 売上原価、販管費の推移

【連結】

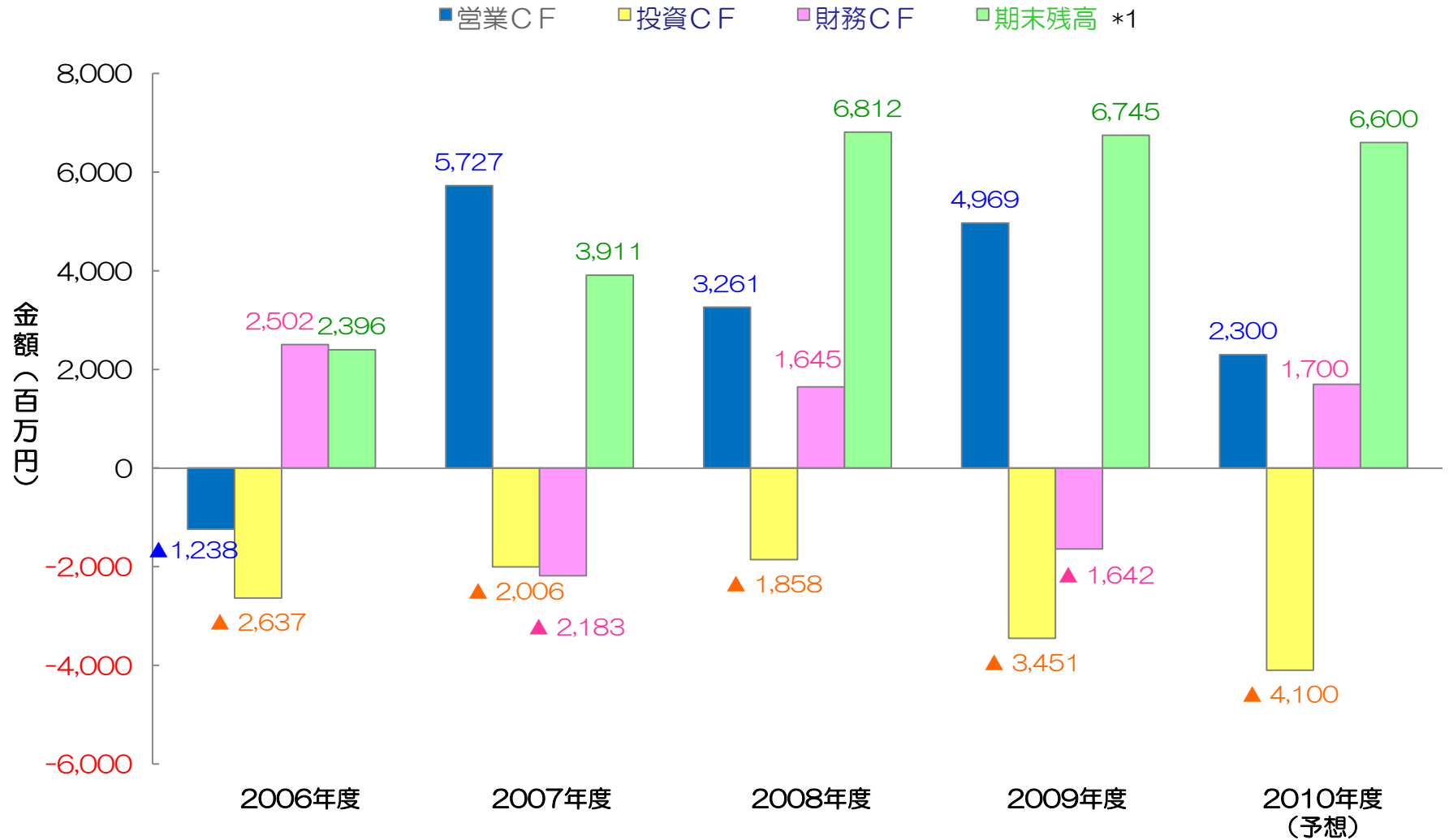


	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 (予想)
原価率	79.3%	80.0%	81.0%	76.5%	78.7%
販管費率	16.1%	15.4%	17.1%	18.5%	17.2%

8. キャッシュフロー推移

【連結】

* 1 : 現金及び現金同等物の期末残高



9. 第2次中期5カ年経営計画の概要[2008~2012年度]

9-1. 基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1) 基盤事業のさらなる拡大 | 徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択 |
| 2) 伸長事業の拡大 | 高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ |
| 3) 新規事業・新技術の創生 | 基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保 |
| 4) 経営・事業基盤の整備と強化 | 事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営へ |

9-2. 業績目標

	2007年度	2012年度 (目標)	5カ年 伸率%
売上高	66,171	85,000	+28.5
営業利益	3,031	5,200	+71.6
経常利益	3,222	5,500	+70.7
当期純利益	1,775	3,300	+85.9
ROE	5.0%	≥7%	
(EBITDA)	5,122	9,600	+87.4

9-3. キャッチフレーズ

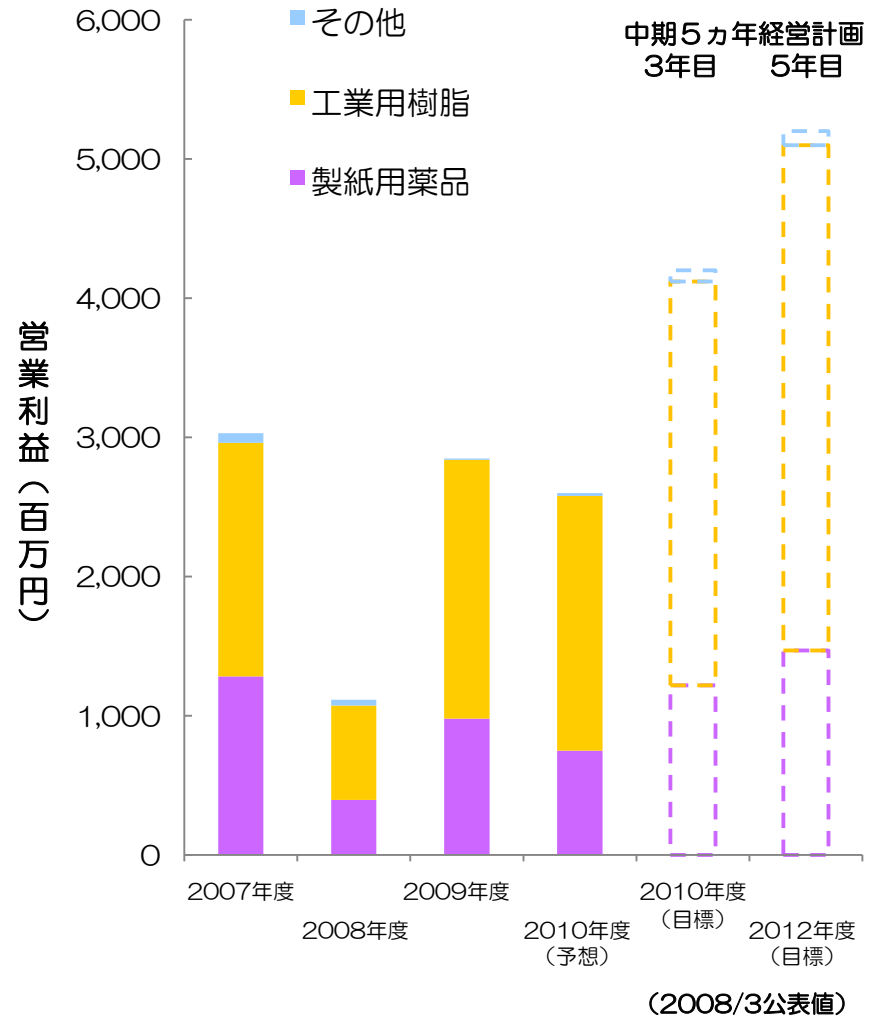
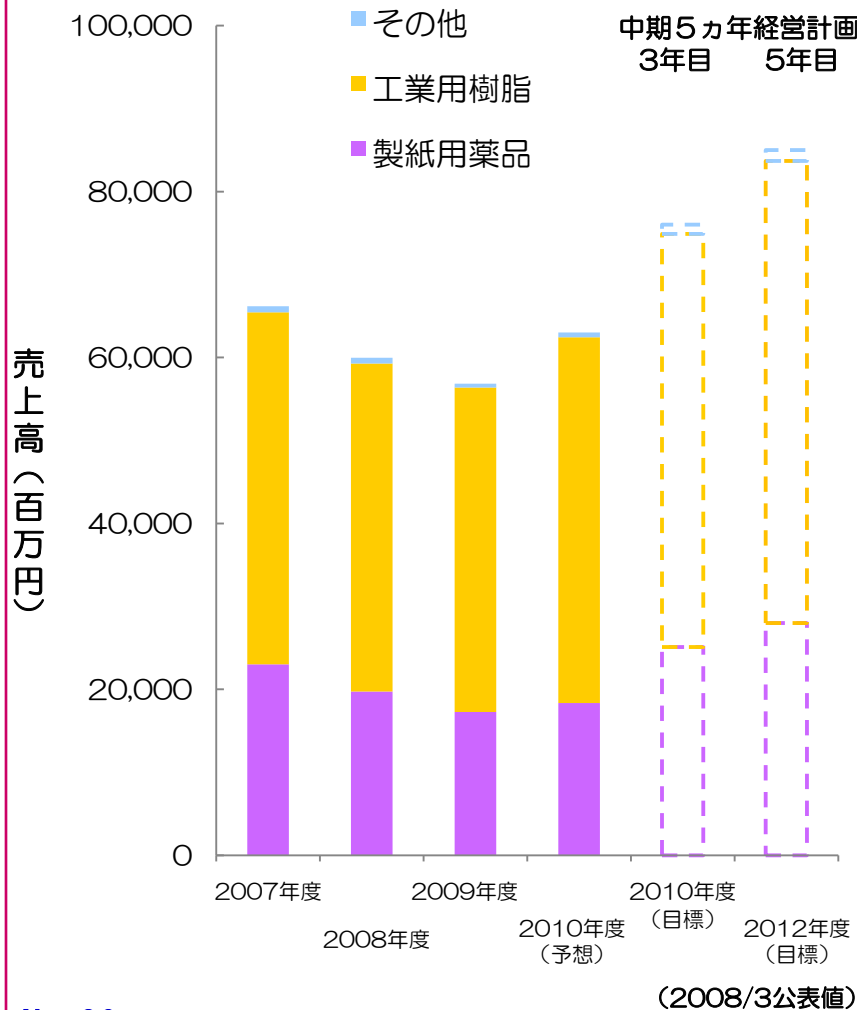
「PINE DASH 1000」
 ~ 躍動、輝ける未来のために ~

- ・「**PINE**」: 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ
本業重視を継続する
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り
- ・「**DASH**」: **D**ynamic **A**ction for **S**hining **H**istory
躍動、輝ける未来のために
- ・「**1000**」: 当社創業140周年となる2016年度には、
企業成長のひとつのベンチマークである
売上高1,000億円を超える姿でありたい

10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-1. セグメント別業績目標

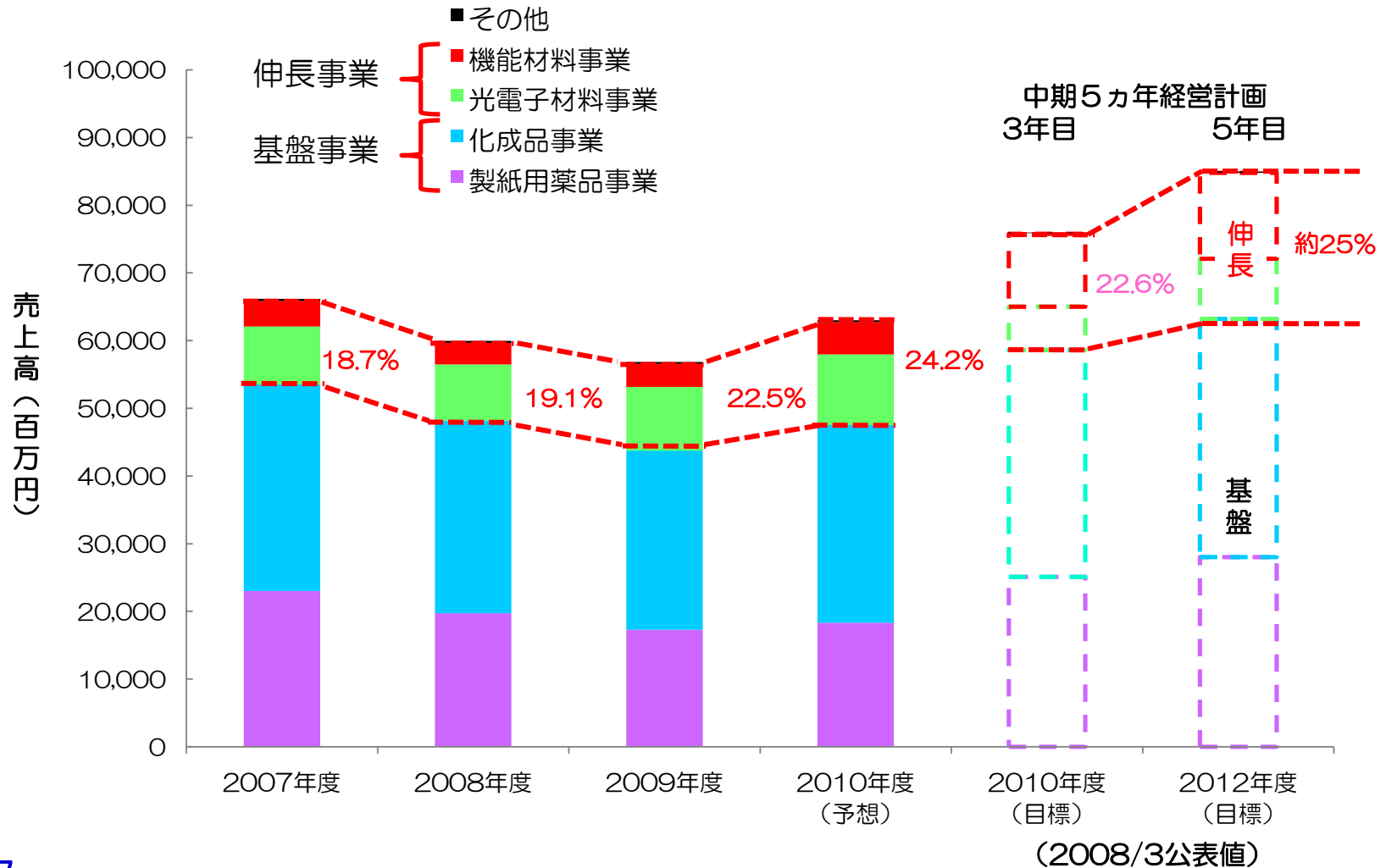
2012年度に売上高850億円、営業利益52億円を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-2. 基盤事業+伸長事業

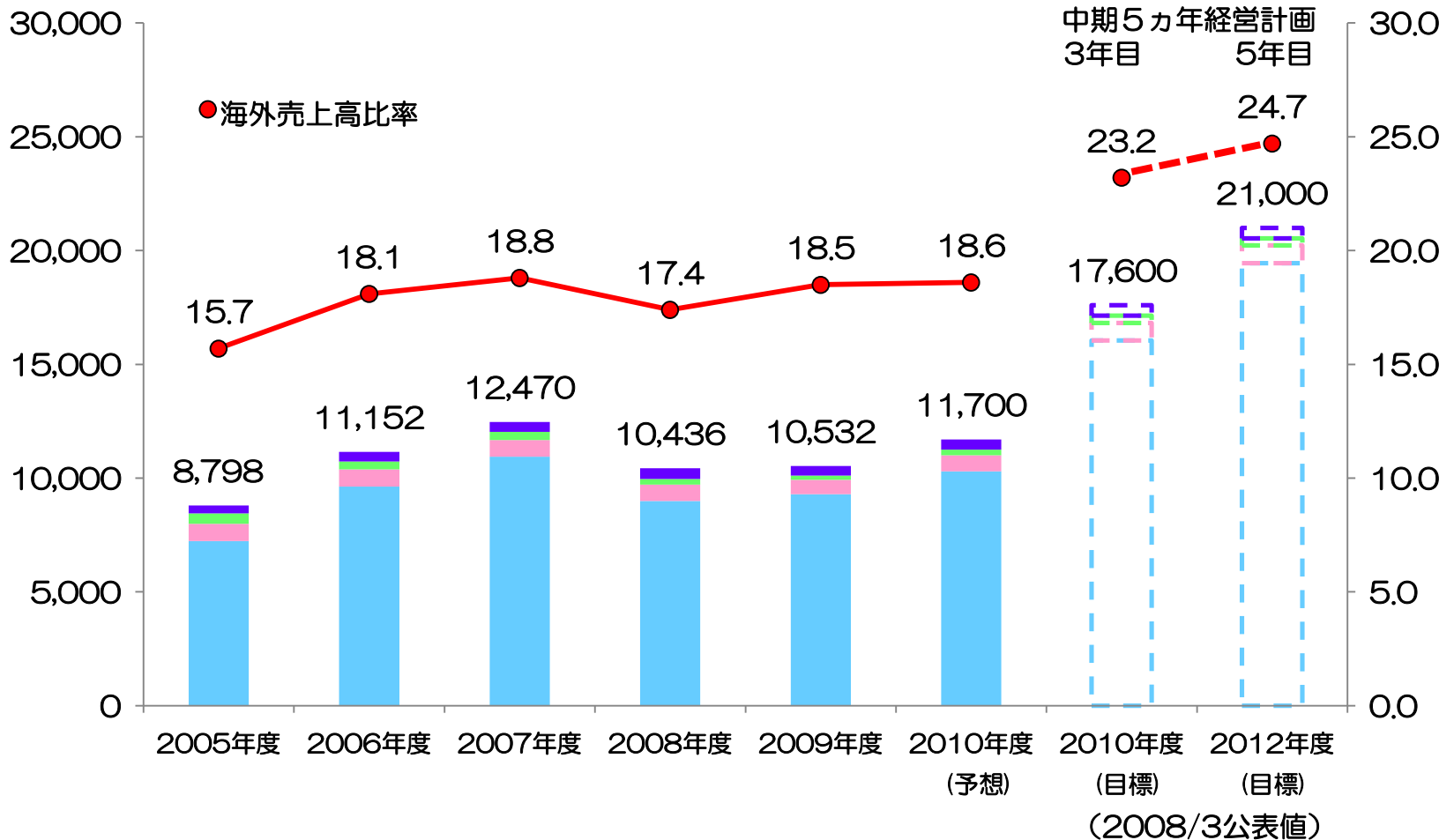
伸長事業の比率を向上、2012年度に約25%を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-3. 海外展開

基盤・伸長とも拡大、2012年度海外売上高200億円突破を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-4. 新規事業・新技術の創生

荒川化学グループの次なる柱となるべき新規事業と新技術の創生

- ・ 開発マネジメントシステムの構築による、新規事業・新技術の的確な評価の実施
- ・ ロジン関連技術をはじめとするコア技術の選定・開発
- ・ 技術提携を含めた不足技術の確保
- ・ 知的財産戦略の構築・実施

10-5. 経営・事業基盤の整備と強化

荒川化学グループ最適の経営を目指し、全てのステークホルダーから信頼される企業として社会的責任を果たす

- ・ サプライチェーンマネジメント体制の構築
- ・ 品質・環境・保安全管理システムの構築
- ・ 当社グループに適した社会貢献の推進
- ・ コーポレートガバナンス体制の更新・改革による、企業価値の維持・向上

1 1. 基盤事業の新製品／製紙用薬品事業

1 1-1. アクリルアミド系微粒子ポリマー（ポリテンション）

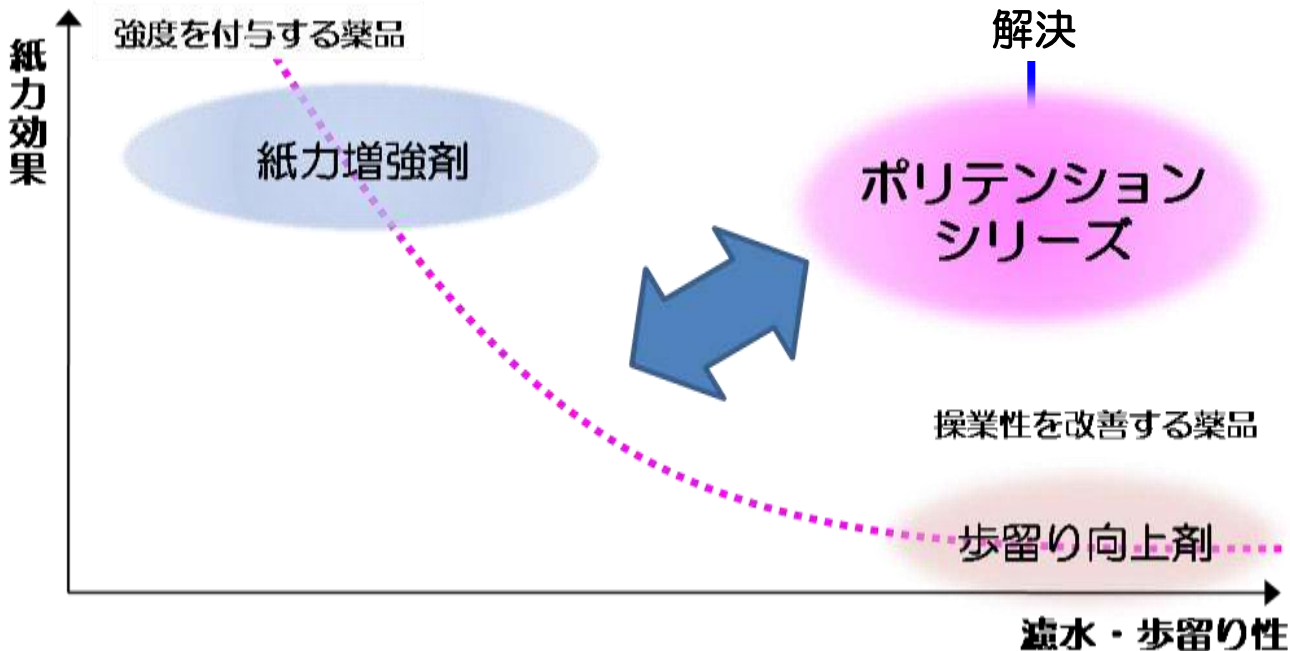
優れた紙力効果と高濾水・高歩留り性を両立する新規製紙用薬品

製紙業界動向

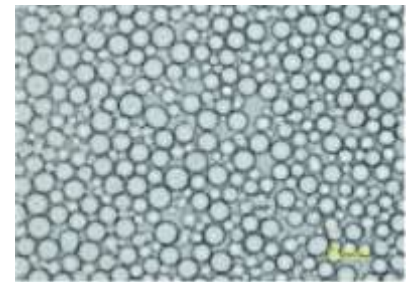
古紙率上昇・高クローズド化
最新鋭大型・高速マシン導入

問題点

紙力低下
濾水・歩留りの低下



(拡大写真)
数十 μ mの粒子状ポリマー



1 1. 基盤事業の新製品／化成品事業

1 1-2. 帯電防止コーティング剤／新規超淡色ロジン

低温・短時間硬化で
優れた帯電防止性を付与する
新規コーティング剤
(アラコート)

当社保有技術の応用

◎樹脂の設計技術

◎導電性ポリマーの分散技術

＊＊帯電防止コーティング剤の特長＊＊

- ・透明性が良好（低ヘイズ度）
- ・低温、短時間での硬化が可能
- ・湿度に影響しない帯電防止性



[用途]

半導体製造工程用キャリアテープ
ディスプレイ用プロテクトフィルム
など

高耐光性・低重合阻害性を
特長とする新規超淡色ロジン
(パインクリスタル)

ロジンに新たな特長を付与

＊＊新規超淡色ロジンの特長＊＊

高耐光性

光による色調劣化が少ない

低重合阻害性

光硬化反応を阻害しないので、
UV粘着・接着剤への展開が可能



[用途]

粘着・接着剤用樹脂
(自動車・ディスプレイ等)

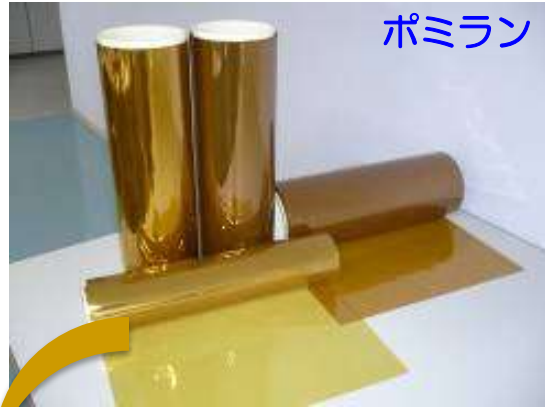
1 1. 伸長事業の新製品／光電子材料事業

1 1-3. シリカハイブリッドポリイミドフィルム (ポミラン)

有機・無機材料の特長を併せ持つ優れた回路基板用ポリイミドフィルム

当社ハイブリッド技術により素材を開発し、
 タイマイド・テック社 (台湾) と共同でフィルム化技術を確立

シリカハイブリッドポリイミドフィルム



ポミラン

JPCA SHOW 2010 (6月2日~4日) に出展

ポミランの特長

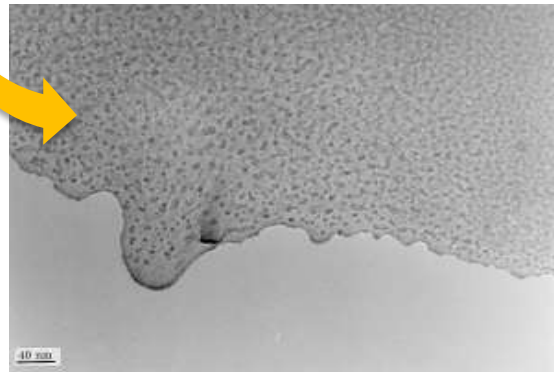
- ・ 難燃性、耐熱性、絶縁性、寸法安定性、
 耐イオンマイグレーション、金属密着性に優れる素材
- ・ 上記素材を使用した表面平滑性、透明性に優れるフィルム

ポミランの機能化

ウェットめっきが可能なポミランの工業化技術を確立!

回路基板業界に「ポミラン」を使用した
 連続ウェットめっきプロセスによる回路基板の作製を提案

(拡大写真) 電子顕微鏡画像



超微細なシリカ粒子
 (平均5 nm) が
 均一分散した硬化膜

ウェットめっき装置
 (試作機)



1 1. 伸長事業の新製品／光電子材料事業（ペルノックス）

1 1-4. 放熱塗料（ペルクール H-7001）

塗るだけで放熱性が向上する塗料：熱伝導と熱放射の機能を持つ

用途

- ・ 各種電気製品の熱対策（電子回路の信頼性向上）
- ・ 車関連電子部品の熱対策（ハイブリッド、電気自動車）
- ・ LED照明の熱対策（発光効率のアップ、長寿命化）
- ・ 放熱フィンの小型化 → 製品の小型化
- ・ 筐体全体の温度低下

LED照明への展開

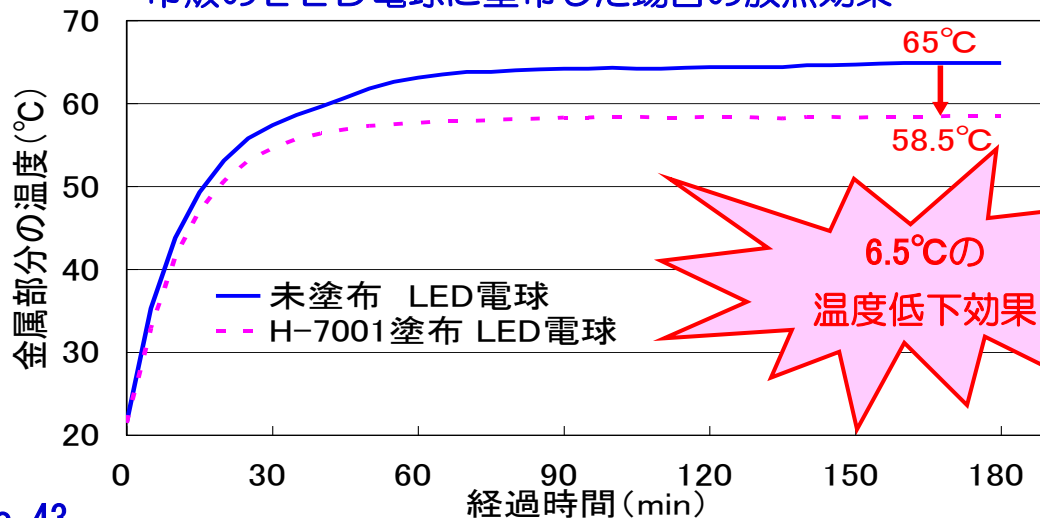


左：未塗布
LED電球

右：H-7001塗布
LED電球

性能

市販のLED電球に塗布した場合の放熱効果



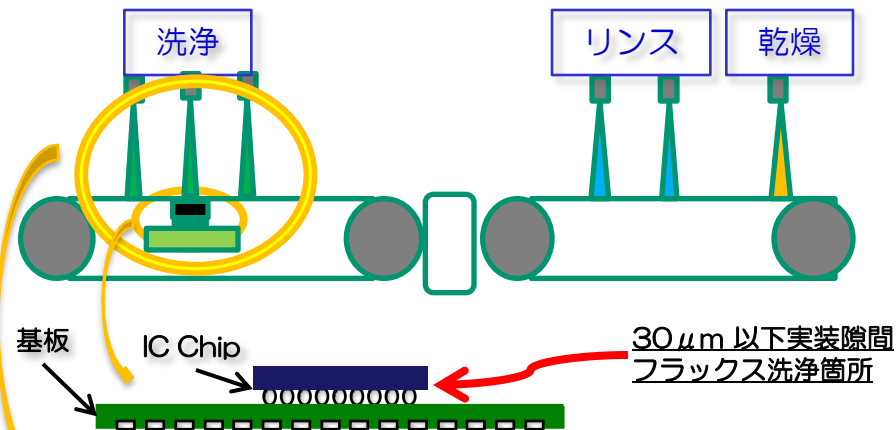
1 1. 伸長事業の新製品／機能材料事業部

1 1-5. 次世代基板用新洗浄技術（ダイレクトフォールズ洗浄システム）

狭い実装隙間部分を有するFC-PKG(Flip Chip Package)等を洗浄する際に絶大な効果を発揮する洗浄システム

JPCA SHOW 2010（6月2日～4日）に出展

《ダイレクトフォールズ洗浄システム》



洗浄時の課題

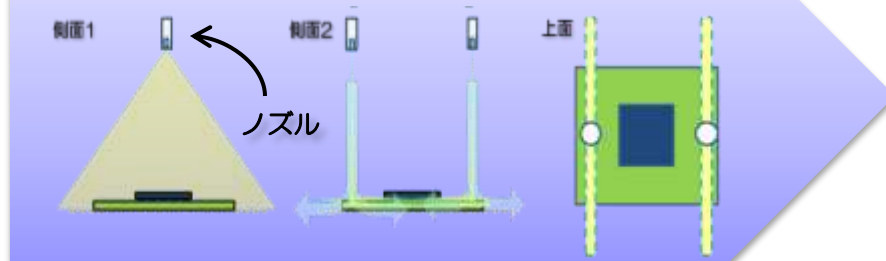
- ①ファインピッチ化に伴い、フラックス洗浄が必要な実装隙間部分が狭くなり、難洗浄化が進む。
 - ②基板とIC Chipが薄くなる事でストレスに対して脆弱になり、実装部分の剥がれやIC Chipの割れが発生し易い。
- ☆被洗浄物にストレスをかけずに狭隙間洗浄性を確保する方法が必要。



ダイレクトフォールズ洗浄システムの特長

- ＊＊高い隙間洗浄効果＊＊
隙間洗浄における支配的因子の解明により実現
- ＊＊低ストレス洗浄＊＊
洗浄機構の改善効果により、低ストレス洗浄を実現。

ダイレクトフォールズ洗浄システムの洗浄形態



1 2. 環境配慮型製品の売上高推移（個別）

環境配慮型製品 売上高推移

■ 環境配慮型製品 ■ 既存製品 ◆ 環境配慮型製品比率

